

齋藤博 （あざとう ひろし） 外交官、譯詩家。明治十九年（二月）二十四日新潟縣長岡
 生れ、昭和十四年（二月）二十六日歿（八六一・九元）。父は英學者齋藤祥
 三郎。東京帝國大學卒。明治四十二年外務省入り。大正十一年ワシン
 トン暹羅會議の大使館書記官として出席の折、白鳥敏夫と共に毎分の
 會議録を作成、アメリカ側から配付要請を受ける出来映えだったと
 いふ。昭和四年情報部長、翌年駐英大使官参事官となり、在任中ロマ
 ンドーナルド（昭和六年）二月十日岩波書店（の）一書を著す。八年
 駐オランダ大使を経、翌年駐米大使任官、英米善書ヨロ木の政策（自
 的）（ポストン刊）を出版するなど日米懸念調整に努むると、任地で
 病死。アメリカは遺骸を戦艦アストリア號を使って日本へ運んだ。
 既述譯詩の取組み、白夏武介譯のポー作「大鴉」を讀んでその誤譯
 の酷さに憤慨、倉ら「からす」と題して譯した他、ガラサインズの難
 解詩「ジン・エヅラ博士」等、譯詩集『移植林』（昭和二十二年）二月
 十五日讀書展堂社）に遺した。該書には、父の白木中學校時代の教員
 子の一人吉田茂が「故友遺稿」を寄せてゐる。

